

付知南小学校みどりの少年団が 全国緑の少年団活動発表大会で発表しました！

「全国緑の少年団活動発表大会」が11月11日に茨城県行方市の茨城県鹿行生涯学習センターにおいて秋篠宮皇嗣同妃両殿下をお迎えして開催されました。今年度の「みどりの奨励賞」に選ばれた「付知南小学校みどりの少年団」（中津川市）を代表して西尾 堇（にしお すみれ）さん、源川龍兎（げんかわりゅうと）さんが活動発表を行いました。

付知南小学校みどりの少年団は、令和3年度に結成したばかりですが、江戸幕府の直轄地として林業が栄えてきた土地柄で学校独自で植樹や森林教室を長年行ってきました。地元産業を学ぶ過程では、地元関係団体のバックアップを得てかな削りやVRチェンソーなど、伝統と革新が取り込まれた様々な体験を行っています。

今回は、「私たちが引き継ぐ付知の森林（たからもの）」をテーマに「森と暮らしをつなぐ活動」、「木育」の2つの活動の様子を元気よく発表しました。

各学年が取り組む木育活動のほか、5年生は間伐体験、ご神木の伐採跡地の見学、木材の最終消費である家屋の見学などを行いました。このような多くの学習活動から、地域の価値に気づき、付知の人たちが受け継いできた木の文化を「たからもの」と思い引き継いでいく姿に会場からは大きな拍手をいただきました。

また、この大会では付知南小学校みどり少年団全学年で実施している木育活動の講師を務める栗谷本征二（くりやもと せいじ）さんが受賞した「令和5年度緑の少年団育成成功労賞」の表彰もありました。

翌12日の第46回全国育樹祭式典行事の「緑の贈呈」では、茨城県のみどりの少年団が育てたヤマザクラなどの苗木が贈られました。

大会を振り返り、付知南小学校みどりの少年団は、大変貴重な体験ができたことと思います。これからも緑や自然、地域を愛する人へ健やかに成長されるとともに、みどりの少年団活動の伝統を引き継いでいってくださることを願っています。

<11月11日 全国緑の少年団活動発表大会の様子>



団旗の入場受渡



発表の様子



表彰



表彰(右から2番目が付知南小学校)



左から付知南小学校みどりの少年団の源川さん、西尾さん
緑の少年団育成成功労賞の栗谷本さん



11月12日 第46回全国育樹祭式典行事
緑の贈呈(ヤマザクラ)